

第2期山形県スポーツ推進計画の進捗状況を把握するための数値目標(中間案)について

項目		目標値 (R11)	現状値		設定の考え方
			実績	年度	
基本方針1 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現					
成人のスポーツ実施率	週1回以上	65%	56.1%	R5	・ ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ庁策定の第3期スポーツ基本計画等を踏まえ、成人のスポーツ実施率(週1回以上、週3回以上)を目標に設定します。 ※数値は各市町村のスポーツ推進委員による調査結果から算出
	週3回以上	30%	21.1%	R5	
県スポーツ・レクリエーション祭への参加者数		増加	2,062人	R5	・ 生涯にわたり心身ともに健康で、全ての人々がスポーツにアクセスできる社会の実現を目指すため、県が実施するスポーツ・レクリエーション祭の参加者数を目標に設定します。
基本方針2 子どものスポーツ機会の充実と体力の向上					
スポーツや運動が「好き」の児童生徒の割合	小学生	65%	61.5%	R5	・ 子どもの日常的な運動習慣の確立と体力の向上のためには、子どもがスポーツの楽しさや意義・価値を実感することが重要であることから、スポーツや運動が「好き」の児童生徒の割合を目標に設定します。
	中学生	55%	52.3%	R5	
卒業後も運動やスポーツをしたいと「思う」中学生の割合		55%	51.5%	R5	・ 生涯にわたりスポーツ活動に取り組むには、継続して運動に親しむことが重要であることから、スポーツ庁策定の第3期スポーツ基本計画等を踏まえ、卒業後も運動やスポーツをしたいと「思う」中学生の割合を目標に設定します。
基本方針3 国内外で活躍できるアスリートの育成等と競技力の向上					
YAMAGATAドリームキッズ(在籍・修了生)の全国大会(アジア・世界大会を含む)入賞種目数		50種目	37種目	R6	・ 全国や世界の檜舞台で活躍できるトップアスリートの発掘・育成・強化を目指し、スポーツ団体や地域等との連携により、ジュニア期からトップレベルに至る体系的かつ戦略的な支援を行うため、在籍・修了生中50種目以上の入賞を目標に設定します。
国民スポーツ大会の都道府県別順位(天皇杯順位)		20位台を目指す	33位	R6	・ 本県出身選手が全国や世界の檜舞台で活躍することは、県民に明るい話題を提供するとともに、活力ある県勢発展に大きく寄与することから、引き続き競技団体と連携し競技水準の向上に取り組むため、国民スポーツ大会の都道府県順位(天皇杯順位)全国20位台を目指すこと(順位の上昇)を目標に設定します。
基本方針4 スポーツによる共生社会の実現と地域活性化の推進					
県が誘致したスポーツ合宿団体による地域交流件数		15件(累計)	3件	R5	・ 少子高齢化を伴う人口減少が進む中、スポーツを通して豊かな自然環境や観光資源など、本県の魅力を県内外に発信していくことや交流人口の拡大など地域活性化の取組みを推進するため、県が誘致したスポーツ合宿団体による地域交流件数を目標に設定します。
障がい者スポーツ教室の参加人数		増加	1,249人	R5	・ 年齢、性別、障がいの有無を問わず、県民誰もが、興味・関心・適性等に応じて日常的にスポーツに親しめる環境の整備が必要であり、スポーツを通じた誰もが参画できる共生社会の実現を目指すため、障がい者スポーツ教室の参加人数を目標に設定します。